

日本河川・流域再生ネットワーク <http://www.a-rr.net/jp/>  <https://www.facebook.com/JapanRRN>

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

目 次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ JRRN 会員寄稿記事	2
➤ 「リバフロサポートセンター」からのお知らせ	4
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ	5
➤ 会議・イベント案内 & 冊子等の紹介	6

JRRN 事務局からのお知らせ JRRN Activity Report

小さな自然再生普及促進プロジェクトー 今年度全 5 回「小さな自然再生」現地研修会のお礼

本年 4 月に全国より研修会開催希望地を公募し、今年度も昨年度と同じく全 5 回の「小さな自然再生」現地研修会を開催させて頂きました。

第 23 回研修会 in 福井県・河内川では「北川を遊べる川にする有志の会」、第 24 回研修会 in 新潟県・古太田川では「下興野自治会と早稲田大学景観デザイン研究室」、第 25 回研修会 in 滋賀県・大浦川では「ONE SLASH」、第 26 回研修会 in 兵庫県・千種川では「千種川圏域清流づくり委員会」、そして第 27 回研修会 in 長野県・休耕田では「更北中学校ものづくり部理科班、更北地区住民自治協議会、更北流域治水研究会」とともに、参加者の熱意と英知を集めて各研修会を企画し、無事に開催することができました。

今年度の全 5 回研修会の延べ参加人数は、講師や運営スタッフも含めて約 200 名となります。各研修会で得られた成果は、当日参加できなかった方々にもご活用頂けるよう、今年度末までに開催報告書としてとりまとめ、以下のページにて公開させて頂きますので、もうしばらくお待ちください。

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/category/jrrn-lecturereport>

なお、今年度の現地研修会も、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けて開催させて頂きました。研修会開催にご協力頂きました関係団体の皆様に心から御礼申し上げます。

(JRRN 事務局・和田彰)

「小さな自然再生」現地研修会

2024 年度 開催地位置図



12月



あの日のあの川 リレー日記 ～第 77 話～



あの日のあの川
リレーDiary

みなさんはどこの川でどんなことをした記憶がありますか？ 幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

第 77 話主人公 佐々木倫

(筑波大学大学院 システム情報学研究科 構造エネルギー工学専攻 白川(直)研究室『川と人』ゼミ)

(■川ガール・□川系男子)

(出身地を流れる川：千葉県根木名川)

「いつまでも記憶に残る景色」

いつのこと？： 小学 2 年生

どこの川？： 早瀬川 (岩手県遠野市)

芦村くんからバトンを受け取りました。筑波大学白川研究室の佐々木倫です。

「あの日のあの川リレー日記」の依頼を受けた時、一番に思い出したのは大伯父に連れて行ってもらった早瀬川でした。

早瀬川は岩手県遠野市を流れる北上川水系猿ヶ石川支流の一級河川です。

小学 2 年生のときに祖父母と従姉妹と共に岩手県遠野市にある祖母の実家へ曾祖母と大伯父に会いに行きました。

曾祖母の家は夜でも鍵を閉めなかったり、方言が難しかったり、大伯父はスズメバチの巣を保管していたりと、千葉県生まれ千葉県育ちの私は驚くことばかりで興奮していました。そんな姿を見て大伯父は「いろんな経験をさせてやろう」と私と従姉妹を早瀬川に連れて行きました。

それまで川に入ったことも川に行くことを目的に出かけたこともなかったので、何をするのかわからないままだ車に揺られとくえずついていったという感じだったと思います。

「着いたぞ～」と言われ、車を降りると、一面緑と川の水が広がる景色で、川の水は底が見えるほど綺麗で。子供ながらも感動していました。

そんな気持ちで川を眺めていたら、突然大伯父が川に入り、「おいで！」と手招きしました。川に入っているのか？！と驚きながら入ると、夏なのに冷たくてすっきりしていてプールとは全然違う！と驚きました。水を掛け合ったり綺麗な石を探したり、着替えを持ってきていないことも忘れて夢中で遊んでいました。川沿いにそのまま寝転び服を乾かし、帰りの車ではぐっすり、とにかく自由に心地いい時間でした。

あの時に交わした会話はほとんど覚えていませんし、写真もありません。ですが、あの時の景色や大伯父の笑顔は今でも鮮明に覚えています。

(次は藤井さんにバトンを託します)

「リバフロサポートセンター」からのお知らせ RiverFront Support Center

※「リバフロサポートセンター」は、公益財団法人リバーフロント研究所が強みとするテーマの情報、技術、研究成果、また川づくりの楽しさややりがい等を社会に発信し、水辺とまちのパートナーとして各地域の担い手を支援します。JRRN はリバフロサポートセンターと二人三脚で川づくり・まちづくり・流域づくりの推進に取り組んでおります。

「大河川における多自然川づくり～Q&A 形式で理解を深める～」 第 16 回ウェブセミナーを開催しました！ 次回は令和 7 年 5～7 月頃開催予定です！

「多自然川づくりサポート」事務局（担当：渡邊祐介）

■第 16 回 大河川における多自然川づくりウェブセミナー



「第 16 回 大河川における多自然川づくりウェブセミナー」を令和 6 年 11 月 14 日（木）に開催しました。

第 16 回目は、「Q8－2 河道内樹林の再繁茂対策の方法を教えてください。」に関連して、「河道内樹林の再繁茂対策について」と題して、国立研究開発法人 土木研究所 自然共生研究センター 森照貴センター長からご紹介いただきました。

参加申込者は、行政関係者が約 4 割、コンサルタント関係者が約 5 割で全体の約 9 割を占めており、合計で 382 名の方々に参加申込いただきました。

また、当日は、複数の地盤高による管理範囲を限定する方法に対する地盤高の設定方法など再繁茂対策に関する具体的な質問や、樹林化抑制に対する目標設定の考え方等について合計 19 個の質問をいただきました。参加者の皆様には活発なご議論をいただきありがとうございました。

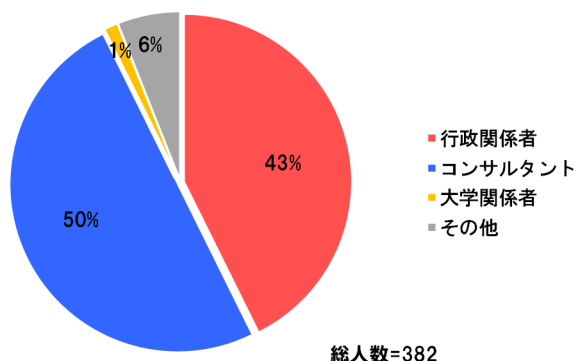


図 参加申込者の職種分類

＜第 16 回 ウェブセミナー開催概要＞

- 開催日時：令和 6 年 11 月 14 日 16:00～17:00
- 開催形式：ZOOM ウェビナー
(事前申込制、参加費無料)
- タイトル：樹林化を抑制する河川管理の考え方
- プログラム：
 - ① 河道内樹林の再繁茂対策について
講演者：国立研究開発法人 土木研究所
自然共生研究センター
森照貴 センター長
 - ② 意見交換
- CPD：1.0 単位（土木学会認定）

■次回開催予定、過去の講演動画の紹介

次回は令和 7 年 5～7 月頃を開催予定です。

また、過去の講演動画はリバーフロント研究所 HP にて公開中です。次回開催案内、過去の講演動画等の詳細は以下の URL をご覧ください。

<http://www.rfc.or.jp/daikasen.html>

リバーフロント研究所 YouTube チャンネルでも過去の講演動画はご覧いただけますので、是非ご登録ください。

<https://www.youtube.com/c/RFCJAPAN>

■大河川における多自然川づくり～Q&A 形式で理解を深める

本書では、大河川における多自然川づくりを実践するため、現場で直面する課題を Question とし、これに Answer とし、答える形式で、これまで日本が蓄積してきた知見が分かり易く紹介されています。

※本 Q&A のダウンロードはこちらから

https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/kankyo/tashizen/qa.html

JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ (2024 年 12 月まで提供分) Information from member

【JRRN 会員からの提供情報】

■ 第 215 回 河川文化を語る会 オープンスペースからのまちづくり ～水都から万博まで～ (1/8 開催)

第215回 河川文化を語る会

オープンスペースからのまちづくり
～ 水都から万博まで ～

講師: 忽那 裕樹氏

日時: 2025年1月8日(水)
14:30 ～ 16:30(受付開始13:00)

会場: エル・おおさか 本館5F「視聴覚室」
募集人数: 100名(先着順)

※お申込み詳細などは裏面をご覧ください。

参加費 無料



提供: 大阪の月夜を愛する会(水都)
提供: 2025年日本国際博覧会協会
提供: 大阪の月夜を愛する会(万博案内)

公益社団法人日本河川協会（JRRN 団体会員）より第 215 回 河川文化を語る会のご案内です。

第 215 回「河川文化を語る会」は、2025 年 4 月より開催の「2025 年日本国際博覧会」においてランドスケープデザインディレクターとして活躍される、忽那裕樹様を講師にお迎えし、開催いたします。

■ 日時：2025 年 1 月 8 日（水曜日）14：30～16：30

■ 場所：エル・おおさか 本館 5 階「視聴覚室」（大阪府大阪市）

◆ 詳細は右記参照：<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/4363.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

■ 河川汽水域における多自然川づくりの技術資料（試案）に関するアンケート調査のお願い（1/7 〆切）

河川汽水域における多自然川づくりの技術資料（試案）に関するアンケート調査

本技術資料は、令和 5 年度汽水域における多自然川づくり技術検討会において議論し試案として作成したものです。

現場技術者の皆様からのご意見をいただき、本技術資料の修正の参考とさせていただきます。

お手数をおかけしますが、本技術資料に関するアンケートについてご回答をお願いいたします。

ご記入にあたって、本技術資料の掲載 URL から掲載内容をご覧ください。

技術資料（試案）掲載 URL：[https://www.rfc.or.jp/seitai/kisuiikigijutsusiryo\(shian\).pdf](https://www.rfc.or.jp/seitai/kisuiikigijutsusiryo(shian).pdf)

技術資料掲載ウェブサイト：<https://www.rfc.or.jp/theme04-2.html>

【回答期限：2025 年 1 月 7 日】

お問い合わせ：daikasen2021@rfc.or.jp

公益社団法人リバーフロント研究所からのアンケート調査のお願いです。

昨年度末に「汽水域における多自然川づくり技術検討会」（事務局リバフロ）で議論した結果をまとめた「河川汽水域における多自然川づくりの技術資料（試案）」（全 239 ページ）を公開しました（座長 乾隆帝先生）。

現場技術者の皆様からのご意見を頂き、本技術資料の修正の参考とさせていただくため、本資料に関するアンケートを実施しております。

河川汽水域で業務をされている河川管理者や建設コンサルタントなどの技術者の皆様、河川汽水域を研究フィールドとされている研究者の皆様等からご意見をいただくと大変ありがたいと思います。【回答締切：2025 年 1 月 7 日（火）】

● アンケート URL（Google フォーム）：<https://forms.gle/bZCEUJYqoKySmqTL9>

会議・イベント案内 (2024 年 12 月以降) Event Information

(国内の河川・流域再生に関する主なイベント) ※前頁でご案内した行事は本欄では掲載していません。

■ミズベリング・インスパイア・フォーラム 2024 in 横浜

○日時：2024 年 12 月 19 日 (木) 15:00～18:00

○主催：ミズベリング・プロジェクト事務局 他

○場所：横浜ランドマークホール (神奈川県横浜市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3590.html>■良好な環境創出シンポジウム～水環境を生かした地域の魅力度
向上の輪を広げよう～

○日時：2024 年 12 月 19 日 (木) 14:00～16:30

○主催：環境省

○形式：Web 開催 (Zoom ウェビナー)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3609.html>

■第 4 回北海道の応用生態工学_全国大会の発表を札幌でもその 3

○日時：2025 年 1 月 24 日 (金) 10:00～17:00

○主催：応用生態工学会札幌

○場所：北海道大学学術交流会館 小講堂 (北海道札幌市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3607.html>■第 10 回遠賀川中島自然再生勉強会～遠賀川でネイチャーボ
ジティブな川づくりを考える～

○日時：2025 年 1 月 29 日 (水) 13:15～16:45

○主催：応用生態工学会福岡

○場所：遠賀川水辺館 (福岡県直方市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3605.html>

■第二十回「外来魚情報交換会」

○日時：2025 年 2 月 1 日 (土) ～2 日 (日)

○主催：琵琶湖を戻す会

○場所：滋賀県立琵琶湖博物館 ホール (滋賀県草津市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3598.html>

冊子等の紹介 Publications

■ はじめての魚の居場所づくり vol.2



この冊子は、小さな自然再生のハンドブックとして、魚にとって大切な場所について理解し、魚の居場所づくりに取り組む際のヒントを分かりやすくとりまとめたものです。

全国の水辺の小さな自然再生の担い手の皆様にとって更なる意欲と活力につながり、地域に根差した川づくりの更なる推進に寄与すれば幸いです。

→ダウンロードページはこちらから

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/375>

●制作：

滋賀県立大学大学院

(泉野珠穂・安田希亜良・瀧健太郎)

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

●発行：

滋賀県流域政策局、

滋賀県立大学大学院流域政策・計画学研究室

公益財団法人リバーフロント研究所

●発行年月：2024 年 8 月

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 NMF 茅場町ビル 7 階 (公財) リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3861 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>